

日本骨髓バンク、中国骨髓バンクと提携、相互検索業務スタート

財団法人骨髓移植推進財団
理事長 正岡 徹

日本骨髓バンクは9月24日、中国骨髓バンクと提携、10月29日より相互検索業務を開始します。

中国の登録ドナー者数は約67万人。各々のバンクの移植希望患者にとってドナー検索と適合の機会の増大が期待されます。

今回の国際提携はアメリカ、台湾、韓国に続くものです。

財団法人骨髓移植推進財団（東京都千代田区、理事長：正岡徹）は、中国骨髓バンク（Chinese Marrow Donor Program：C M D P）と9月24日（月）に提携、10月29日（月）より相互検索業務を開始します。

この提携により、日中両国の移植希望患者は、各々のバンクに登録する合計約96万人のドナー登録者データへの検索が可能となり、H L A照合・適合の機会の増大が期待されます。

中国骨髓バンクは1992年に設立されました。2001年からは、より積極的なドナー登録推進をはかり、ドナー登録者は67万人（中国本土のみ）を超え、今後も増加すると考えられます。

現在、日本骨髓バンクには多くの患者さんの登録があります。骨髓バンク間の国際協力は、移植希望患者が適合ドナーを見つけることにおいて重要な役割を担っています。

日本骨髓バンクでは、今回の中国骨髓バンクと同様な国際間の提携を通じて、多様なドナー登録者の確保に努め、移植希望患者への骨髓提供の機会を増やすことを推進していきます。

日本骨髓バンクでは、すでにアメリカ、台湾、韓国の各骨髓バンクと提携関係にあります。現在、これらの各バンクのドナー登録者データベースを通じて約515万人を超えるドナー登録者と相互検索ができる体制を整えています。

- < 参考資料 / 次頁 >
- 1 . 中国骨髓バンクの概要
 - 2 . 日本骨髓バンクの国際協力
 - 3 . 日本骨髓バンクの国際協力経緯

本件に関するお問い合わせ：財団法人 骨髓移植推進財団 担当：小瀧、大久保
電話：03-5280-8111（代表）

1. 中国骨髓バンクの概要

名称： 中国紅十字会総会 中国造血幹細胞捐獻者資料庫管理中心
Chinese Marrow Donor Program：C M D P

主任： 洪 俊嶺 (ホ ジュンリク)

事務局： 北京東城區幹面胡同53号100010
TEL 86-10-65126600

沿革：

- 1992年 中国造血幹細胞捐獻者資料庫管理として設立
- 1996年 最初の造血(幹)細胞移植が行われる
- 2001年 中国紅十字会の部門となり運営を強化
- 2007年8月末現在 ドナー登録者数は約67万人、移植件数は755例

2. 日本骨髓バンクの国際協力

(データは2007年8月末現在)

海外ドナーから国内患者への累計移植数

米国骨髓バンク(National Marrow Donor Program：NMDP) から	1 1 0
台湾骨髓バンク(Buddhist Tzu Chi Stem Cell Center：BTCSCC) から	2 5
韓国骨髓バンク(Korea Marrow Donor Program：KMDP) から	1 3
計	1 4 8

国内ドナーから海外患者へ累計移植数

米国骨髓バンク(National Marrow Donor Program：NMDP) へ	1 0
台湾骨髓バンク(Buddhist Tzu Chi Stem Cell Center：BTCSCC) へ	0
韓国骨髓バンク(Korea Marrow Donor Program：KMDP) へ	1 2 7
その他の国	2 1
計	1 5 8

内訳ノ香港6件、英国2件、オランダ1件、フランス1件、オーストラリア2件、
ブラジル2件、ドイツ3件、ベルギー2件、カナダ1件、シンガポール1件

3. 日本骨髓バンクの国際協力経緯

- 1993年 6月 海外在住のアジア系移植希望患者のドナー検索依頼に対応するため、国際協力小委員会を設置
- 1993年 9月 米国在住の患者に骨髓を提供(海外への1例目)
- 1995年 6月 ブラジル在住の患者に骨髓を提供
- 1996年 9月 米国在住の患者に骨髓を提供
- 1997年 4月 米国骨髓バンク(National Marrow Donor Program：NMDP)と台湾骨髓バンク(Tzu Chi Marrow Donor Registry：TCMDR/当時)と相互検索業務を開始
- 1997年 9月 NMDPより第1例目の骨髓提供を受ける
- 1998年 6月 TCMDR(当時)より第1例目の骨髓提供を受ける
- 1998年 4月 BMDW(世界骨髓ドナーHLA集計システム)に参加・照合サービス開始
- 1998年10月 韓国在住の患者に骨髓を提供(アジア諸国への1例目の提供)
- 1999年 5月 韓国骨髓バンク(Korean Marrow Donor Program：KMDP)と相互検索業務を開始
- 2000年 3月 KMDPより第1例目の骨髓提供を受ける
- 2000年 5月 NMDPへ第1例目の骨髓提供を行う
- 2001年 9月 米国同時テロにより、NMDPからの骨髓搬送にチャーター機利用
- 2005年11月 BMDWの登録HLAデータが1000万人突破

注：米国骨髓バンク(NMDP)との提携前に、当財団が仲介を行った米国移植病院への骨髓提供が2例あります。